



# 学校だより

令和6年2月1日発行

立川市立若葉台小学校 校長 松村 利一  
〒190-0001 立川市若葉町 1-13-1  
TEL 042-536-3971 FAX 042-534-6943  
HP <http://www.tachikawa-edu.jp/es19/>

## 「心豊かな子」の育成を目指して

校長 松村 利一

早いもので、今年度の教育活動も残り2か月、残り授業日数は33日となりました。少しずつ暖かく感じる日も増えてきました。子ども達には、残り少なくなった今年度の学校生活を大切に過ごして行ってほしいと願っています。

先日、校長室の棚の中を整理していて、以前の学校で実施した道徳授業地区公開講座に講師としてお招きした、元東京都小学校道徳教育研究会会長の荒木徳也先生から教えていただいた資料を目にしました。改めて心に残る良いお話だったと思うため、少し紹介させていただきます。

子どもが朝起きてから学校に出かけるまでの間に、どのくらい会話をしていますか？  
また、その会話から「早く」「～しなさい」「～しちゃだめ」という会話を削ったら、どのくらい会話が残りますか？

家庭で心がけてほしい道徳教育は3つ  
「子どもの話を聞いてあげること」  
「笑顔をあたえること」  
「セルフコントロール（やりたいけど我慢する等）を教えること」

「早く～しなさい」「～しちゃだめでしょ」の言葉のシャワーを浴び続けると、子ども達は、大人の話の話を適当にしか聞かなくなります！



セルフコントロールは「しつけ」で身に付けさせられます。これを怠って「ジコチュウ」という虫が育ってしまうとたいへんです！

荒木先生は朝の過ごし方の大切さを伝えてくださいました。お仕事をお持ちの保護者の方が多く、朝の時間を慌ただしく過ごされているご家庭も多いことと思います。ついつい子どもをせかす声かけばかりになっていたり、ほとんど会話もないまま登校させてしまうことになっていたりということはないでしょうか。そんな時は、お子さんに朝もう少し余裕をもって起きる（そのために必要なら早寝をする）ことを提案し、朝の時間を気持ちよく過ごして登校できるように促してみませんか。また、荒木先生がご家庭に提案していた道徳教育は、私も大切なことだと感じているものです。なんとなく子どもの主張を聞いてあげることが良いことと考え、必要以上に受け入れてしまっていないでしょうか。「夜遅くまでユーチューブを見ていたり、ゲームをしたりしていて、やめなさいと言っても聞かない。」などという声を聞くことがありますが、小さい頃にセルフコントロールをしっかり身に付けさせておきたいですね。

最後にひとつ、子供たちの活躍について紹介させていただきます。学校ホームページでも紹介していますが、大谷選手からの贈り物（グローブ）が届き、その紹介の仕方やお礼のメッセージについて代表委員の子ども達に相談したところ、とても意欲的に考え計画し、行動してくれました。その主体性や行動力に感心させられました。子ども達を信じて任せると、その期待に応えてくれるのですね。とても嬉しく思います。